

1 単元名 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう

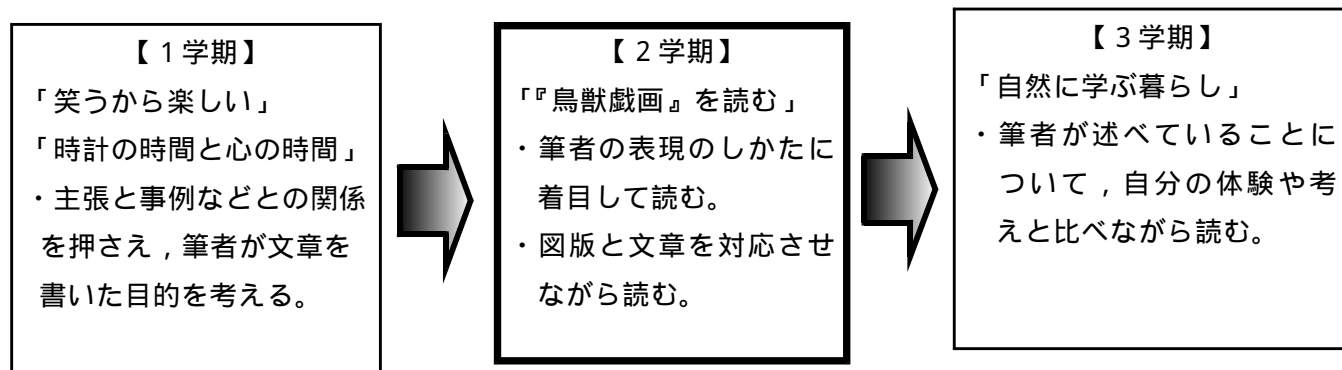
『鳥獣戯画』を読む(光村図書 P136～146)

2 単元について

- (1) 本単元は、学習指導要領「C 読むこと」領域の「(1)ウ目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくんだりすること」、「(1)オ本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「イ(オ)文章の中での語句と語句との関係を理解すること」を受けて設定されたものである。

本教材『鳥獣戯画』を読むは、アニメーション映画のプロフェッショナルである筆者が絵巻物「鳥獣人物戯画」の素晴らしさについて語った作品である。筆者による絵の描写や絵の描きぶりについての説明と感想等が書かれており、絵と文章との関係を押さえて、筆者の考えをとらえることのできる作品である。また、「鳥獣人物戯画」は、漫画のようなユーモラスな作品であり、児童が筆者とはまた違う解釈をすることも考えられる。筆者や友だちと考えを比べながら自分の考えを広げたり、深めたりすることに適した教材であると考えられる。

- (2) 本単元にかかわる学習の系統は次の通りである。



- (3) 児童の実態は次の通りである。

【国語科の学習に関する意識調査 令和元年9月27日実施 計31人】

調 査 項 目	とても	まあまあ	あまり	まったく
国語の学習は好きですか。	10人	11人	7人	3人
国語の授業内容は、よく分かっていますか。	9人	17人	4人	1人
読書は好きですか。	17人	7人	5人	2人
目的を考えながら読んでいますか。	8人	17人	4人	2人
考えたことを書くことは好きですか。	5人	11人	12人	3人

【本単元に関するレディネス】

調 査 項 目	十分満足	概ね満足	不十分
筆者の考えや主張を捉えることができる。	11人	16人	4人
文章に対して自分の考えを書きまとめることができる。	7人	20人	4人

本学級の児童は、国語科の学習を好む傾向にある。読書についても好む児童が多く、学校図書館も進んで活用する児童が多い。一方で、「目的を考えながら読むこと」については、半数以上の児童が意識して読んでいると答えているが、学力調査において課題が見られた。また、考えを書きまとめることについては、苦手意識がある児童が多く、型や書き出しを示したり、キーワードを確認したりしながら取り組んでいるところである。

(4) 指導に当たっては、次の点に留意する。

ア 校内研究テーマとの関連

英語を用いて生き生きとコミュニケーションを行う児童の育成
～「主体的・対話的で深い学び」の基盤となるコミュニケーション能力の向上を目指して～

【視点１】単元のゴールを見通し、段階的に学ぶ指導計画・学習過程の工夫

- 筆者は、「鳥獣戯画」を「宝」だと主張している。筆者は、そのような考えを伝えるため、どこに注目させ、どう表現しているかを読み取り、筆者の考えと同じかどうかを考えることを単元の追求課題として設定することで、主体的な学びを生み出したい。

【視点２】自他を見つめ、対話の楽しみを生み出す必然性のあるコミュニケーション活動の工夫

- 筆者の考えと比較した自分の考えを友だちと伝え合う場を設定し、考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。
- 読み取ったことを付箋を用いてノートに整理することで自らの読みを可視化し、それをもとに考えを伝え合うことができるようにする。

【視点３】学習意欲を向上させ、行動化につなげる評価の工夫

- 授業の終わりには、自らの学びを振り返ると共に、次時の導入においてそれを活用することで、学びをつなげることができるようにする。

イ 人権が尊重される授業づくりの視点

ものの見方や感じ方は多様であることを理解し、互いの考えを尊重し合って考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

ウ 道徳教育との関連・・・Ｂ－(11)相互理解，寛容

自分の考えや意見を相手に伝えるときに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する態度を育てたい。

3 単元の目標

- (1) 絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち、文章を読もうとすることができる。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているかを捉えることができる。
(読むこと ウ)
- (3) 筆者の意図と表現の工夫との関連について考えることができる。
(読むこと ウ)
- (4) 自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めることができる。
(読むこと オ)
- (5) 文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解することができる。
(伝国(１)イ(オ))

4 単元の評価規準

国語科学習への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
目的に応じ、内容や要旨をと らえ、自分の考えを明確にし ながら文章を読もうとしてい る。	目的に応じて、事実と感想、 意見などとの関係を押さえ、 自分の考えを明確にしながら 読んでいる。(ウ) 文章を読んで考えたことを発 表し合い、自分の考えを広げ たり深めたりしている。(オ)	文章の中で語句と語句との 関係を理解している。 (イ(オ))

5 指導計画及び評価基準(6時間取扱い 本時 3 / 6)

次	時	学習活動	関	読	言	評価基準(評価方法)
1	1	『鳥獣戯画』を読む」を 読み、感想を交流し、学習課 題を設定する。	○			<u>関心・意欲・態度</u> (観察・ノート) ・筆者が「鳥獣戯画」をどう評価しているのか を捉えようとしている。
2	2	絵に対する筆者の見方を読 み取る。		○		<u>読む</u> (観察・教科書・ノート) ・絵と文章を結び付けて読み、筆者が注目して いる所とその見方を読み取っている。
	3	絵に対する筆者の見方と自 分の見方と比べる。		○		<u>読む</u> (観察・教科書・ノート) ・筆者の見方について同じかどうかを考え、友 だちと伝え合っている。
	4	絵に対する筆者の見方を読 み取り、自分の見方と比べる。		○		<u>読む</u> (観察・教科書・ノート) ・筆者の見方を読み取り、同じかどうかを考え、 友だちと伝え合うことで、考えを広げたり、 深めたりしている。
	5	絵巻に対する筆者の見方を読 み取り、自分の見方と比べ、 表現の工夫について考える。			○	<u>読む</u> (観察・ノート) ・絵巻に対する筆者の見方を読み取り、同じか どうかを考え友だちと伝え合うことで、考え を広げたり、深めたりしている。 <u>知識・理解・技能</u> (観察) ・文末表現や助詞の使い方などに注意して読ん でいる。
3	6	筆者の考えと自分の考えを 比べて書きまとめ、交流する。		○		<u>関心・意欲・態度</u> (観察・ノート) ・筆者の考えとの共通点や相違点を明確にして 書きまとめようとしている。 <u>読む</u> (観察・ノート) ・友だちと考えを交流し合い、自分の考えを広 げたり、深めたりしている。

6 本時の学習（4 / 6 時間）

(1) 目標

筆者が、絵の描き方についてどのような見方をしているか、絵と文章を照らし合わせながら読み取り、自分の見方と比較することができる。

【読むこと ウ】

(2) 展開

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点・評価	備考
導入	10分	1 前時までの学習を振り返り、 本時のめあてを確認する。 (1)前時の学習を振り返る。 (2)本時のめあてを確認する。	○前時の挿絵をもとに、前時の学習を振り返り、単元の追求課題と筆者の見方と同じだったかどうかを確認する。	挿 絵
展開	30分	めあて 絵と文章を照らし合わせながら、筆者の見方をとらえよう。		
		2 筆者が絵のどこに注目し、 どう見ているのか読み取る。 (1)筆者がどこに注目したかを確認する。 (2)筆者がどう見ているのかを読み取る。 (個→グループ→全体) 【言語活動】(設定の意図) 付箋を使いまとめたノートをもとに、読み取った内容を聞き合い筆者の見方を明確にする。	徹底指導 (ポイント) 前時までの学習を振り返り、筆者は、絵のどこに注目し、どうなっていると述べているのかという視点で読むことを確認する。 ○注目している所を付箋に書かせ、その周りに、それに対する見方を書き込むようにする。 ○個で課題に取り組み、考えたことをグループや全体で伝え合うことで、筆者の見方を明確に捉えることができるようにする。	付 箋 ノート
		3 筆者の見方と自分の見方を比べる。	能動型学習 (ポイント) 筆者の見方と同じかどうか考える。 その理由を本文から見つける。 書きまとめる。 ◆読む能力 (観察・シート) B 基準 筆者の見方と同じかどうかを本文を根拠として示し、書きまとめている。 A 基準 (ポイント) 筆者の見方と同じかどうかを本文を根拠として示し、自分の見方や評価との共通点や相違点を明確にして書きまとめている。 < B 基準に達していない児童への手立て > ○筆者の見方や評価から一つを一緒に選び、自分の考えと比較し、同じかどうか確かめる。	
整理	5 分	4 本時の学習のまとめと振り返りを行い、次時の学習活動を確認する。	○数名の児童に自分の考えを発表させ考えを交流する。 ○筆者の見方と比べる際には、教科書の記述をもとに考える必要があることを確認し、できたかどうか振り返ることができるようにする。	